



初期設定へのリセットの実行

- [初期設定へのリセット実行の前提条件](#) (1 ページ)
- [工場出荷時の状態へのリセットの実行に関する制限](#) (1 ページ)
- [初期設定へのリセットに関する情報](#) (2 ページ)
- [工場出荷時の状態へのリセット方法](#) (3 ページ)
- [初期設定へのリセットに関するその他の参考資料](#) (4 ページ)
- [工場出荷時の状態へのリセットに関する機能履歴と情報](#) (4 ページ)

初期設定へのリセット実行の前提条件

- 工場出荷時設定へのリセット操作を実行する前に、すべてのソフトウェアイメージ、設定、および個人データがバックアップされていることを確認してください。
- 工場出荷時設定へのリセットはスタンドアロンモードでのみサポートされているため、デバイスがスタッキングモードになっていないことを確認してください。高可用性モードのモジュラーシャーシの場合、工場出荷時設定へのリセットはスーパーバイザごとに適用されます。
- プロセスが進行中の場合は、電源の中断がないことを確認してください。
- 工場出荷時の状態にリセットするプロセスを開始する前に、必ず現在のイメージのバックアップを作成してください。
- 工場出荷時の状態にリセットするプロセスを開始する前に、In-Service Software Upgrade (ISSU) または In-Service Software Downgrade (ISSD) が進行中でないことを確認します。

工場出荷時の状態へのリセットの実行に関する制限

- ソフトウェアパッチは、デバイスにインストールされている場合、工場出荷時設定へのリセット操作後に復元されません。
- vty セッションを介して **factory-reset** コマンドが発行された場合、工場出荷時設定へのリセットプロセスの完了後にセッションは復元されません。

初期設定へのリセットに関する情報

工場出荷時へのリセットでは、出荷時以降にデバイスに保存されたすべての顧客固有のデータを削除します。消去されるデータには、構成、ログファイル、ブート変数、コアファイル、FIPS 関連キーなどの資格情報が含まれます。

次の表に、工場出荷時設定へのリセットプロセス中に消去および保持されるデータの詳細を示します。

表 1: 初期設定へのリセット時に消去および保持されるデータ

消去されるデータ	保持されるデータ
現在のブートイメージを含むすべての Cisco IOS イメージ	リモート Field-Replaceable Unit (FRU) からのデータ
クラッシュ情報とログ	コンフィギュレーション レジスタの値
ユーザーデータ、スタートアップおよび実行コンフィギュレーション	USB の内容
FIPS 関連キーなどのクレデンシャル	Secure Unique Device Identifier (SUDI) 証明書、公開キーインフラストラクチャ (PKI) キーなどの認証情報
オンボード障害ロギング (OBFL) ログ	ライセンス
ユーザーが追加した ROMMON 変数	

工場出荷時設定へのリセットプロセスは、次の 2 つのシナリオで使用されます。

- デバイスの返品許可 (RMA) : RMA のためにデバイスをシスコに返送する必要がある場合は、そのデバイスの RMA 証明書を取得する前に、お客様固有のデータをすべて削除してください。
- 侵害を受けたデバイスのリカバリ : デバイスに保存されているキーマテリアルまたはクレデンシャルが侵害を受けた場合は、デバイスを初期設定にリセットし、デバイスを再設定してください。

デバイスがリロードされて初期設定にリセットされ、スイッチが ROMMON モードになります。工場出荷時設定へのリセット後、デバイスは、ソフトウェアの検索とロードに必要な **MAC_ADDRESS** と **SERIAL_NUMBER** を含むすべての環境変数をクリアします。ROMMON モードでリセットを実行すると、環境変数は自動的に設定されます。

ROMMON モードでのシステムリセットが完了したら、USB または TFTP を使用して Cisco IOS イメージを追加できます。

工場出荷時の状態へのリセット方法

工場出荷時の状態へのリセットを実行するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	factory-reset {all config boot-vars} 例： Device# factory-reset all	すべてのオプションを有効にしてコマンドを使用してください。 factory reset コマンドを使用するために必要なシステム設定はありません。 オプション all を使用して、NVRAM のすべての内容、現在のブートイメージ、ブート変数、スタートアップ コンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションのデータ、およびユーザーデータを含むすべての Cisco IOS イメージを消去します。 オプション config を使用して、スタートアップ コンフィギュレーションをリセットします。 オプション boot-vars を使用して、ユーザーが追加したブート変数をリセットします。 工場出荷時の状態へのリセットプロセスが正常に完了すると、デバイスがリブートし、ROMMON モードで停止します。

初期設定へのリセットに関するその他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9300 Series Switches)</i> <i>Command Reference (Catalyst 9400 Series Switches)</i>

工場出荷時の状態へのリセットに関する機能履歴と情報

リリース	機能情報
Cisco IOS XE Fuji 16.8.1a	この機能が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。